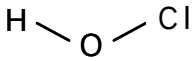
安全データシート（ＳＤＳ）

1.化学品及び会社情報

昭　和　化　学　株　式　会　社
東京都中央区日本橋本町４－３－８
担当
TEL(03)3270-2701
FAX(03)3270-2720
緊急連絡　　同　上
改訂日　　2024/07/23
SDS整理番号　08365950

製品等のコード	：	0836-5950、0836-5970、0836-5940
製品等の名称	：	次亜塩素クリーン
推奨用途	：	物品の抗ウィルス、除菌、清浄、洗浄、防臭用
使用上の制限	：	推奨用途以外の用途へ使用する場合は化学物質専門家等の判断を仰ぐこと



2．危険有害性の要約

ＧＨＳ分類

物理化学的危険性

引火性液体	：	区分に該当しない
自然発火性液体	：	区分に該当しない
自己発熱性化学品	：	区分に該当しない
水反応性可燃性化学品	：	区分に該当しない

健康に対する有害性

急性毒性（経口）	：	区分に該当しない
急性毒性（経皮）	：	区分に該当しない
皮膚腐食性/刺激性	：	区分に該当しない
眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性	：	区分に該当しない

環境に対する有害性

水生環境有害性 短期(急性)	：	区分に該当しない
水生環境有害性 長期(慢性)	：	区分に該当しない

絵表示又はシンボル：　該当なし

注意喚起語　　：　該当なし

危険有害性情報　　：　該当なし

注意書き
【安全対策】
酸類と混ぜないこと。
【応急措置】
該当なし
【保管】
直射日光を避け、容器を密閉して冷暗所に保管すること。
【廃棄】
内容物や容器を、都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に業務委託すること。

（注）物理化学的危険性、健康に対する有害性、環境に対する有害性に関し、上記以外の項目は、現時点で「区分に該当しない(分類対象外も該当)」又は「分類できない」である。

3.組成及び成分情報

化学物質・混合物の区別　：　混合物
化学名、製品名　：　次亜塩素クリーン
（英名）Hypochlorous acid solution
成分及び含有量　：　次亜塩素酸、0.02～0.03%（有効塩素として）
本製品は食品添加物規格の次亜塩素酸ナトリウムと塩酸を原料とし液性を弱酸性pH5-6に調整した「次亜塩素酸水」です。
【構成成分】
①次亜塩素酸ナトリウム、0.02～0.03%（次亜塩素酸として）
②塩酸、適量（0.1%未満。本製品のpHを5～6に調整）
③pH調整剤、適量
④水、　残部（約99%）
化学式及び構造式　：　HOCl、 ClHO、　構造式は上図参照(1ページ目)。
分子量　：　52.46
官報公示整理番号　化審法　：　未登録（次亜塩素酸ナトリウム：1-237）
安衛法　：　未登録（次亜塩素酸ナトリウム：化審法番号を準用）
CAS No.　：　7790-92-3（次亜塩素酸ナトリウム：7681-52-9）
TSCAインベントリ　：　登録済、ACTIVE（次亜塩素酸ナトリウム：登録済、ACTIVE）
ECインベントリ　：　登録済 232-232-5（次亜塩素酸ナトリウム：231-668-3）
危険有害成分　：　特になし

4. 応急措置

吸入した場合　：　気分が悪い時は、新鮮な空気のある場所に移動し、呼吸しやすい姿勢で休息させる。
必要に応じて医師の手当を受ける。
皮膚に付着した場合　：　皮膚を清浄な水で洗う。
皮膚刺激などが生じた時は、医師の処置を受ける。
汚染した衣服は水または洗剤で洗う。
目に入った場合　：　直ちに、清浄な水で数分洗う。その際、顔を横に向けてからゆっくり水を流す。水道の場合、弱い流れの水で洗う。
まぶたを親指と人さし指で拡げ眼を全方向に動かし、眼球、まぶたの隅々まで水がよく行き渡るように洗浄する。
次に、コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外す。
その後も洗浄を続ける。
眼の刺激が持続する場合は、医師の診断、治療を受ける。
飲み込んだ場合　：　口をすすぎ、うがいをする。コップ数杯の水を飲む。
気分が悪い時は、医師の手当を受ける。
予想される急性症状及び遅発性症状：情報なし

5.火災時の措置

適切な消火剤　：　この製品自体は燃焼しない。
周辺火災の種類に応じた消火剤を用いる。
水噴霧、泡消火剤、粉末消火剤、炭酸ガス、乾燥砂類
使ってはならない消火剤：　特になし
特有の危険有害性　：　火災中に刺激性又は毒性のガスを発生することがある。
特有の消火方法　：　危険でなければ火災区域から容器を移動する。
火災発生場所の周辺に関係者以外の立入りを禁止する。
消火を行う者の保護　：　有毒ガス等の接触を避けるため、消火作業の際は風上から行い、呼吸器保護具、保護手袋、保護眼鏡、化学用保護衣を着用する。

6.漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置
：　除菌洗浄などを行なう際は、必要に応じて保護手袋（ニトリル製、塩ビ製など）を着用する、特に長時間作業したり、手荒れしやすい人は保護手袋を着用する。
密閉された場所に立入る時は、事前に換気する。
環境に対する注意事項　：　特になし。
ただし、大量の漏洩物が河川、下水道、土壌に排出されないよう注意する。
回収、中和　：　漏洩物を雑巾やウエスなどで吸収し、プラスチックス製空容器に回収する。
回収物は数倍の水で希釈後、排水処分とする。
後処理として、漏洩場所は滑りやすいので、雑巾などで水ぶき後、十分に乾燥させる。
封じ込め及び浄化の方法・機材
：　危険でなければ漏れを止める。
二次災害の防止策　：　漏洩場所は濡れて滑りやすいので、むやみに歩いたり走ったりしない。

7.取扱いおよび保管上の注意

取扱い

技術的対策	：	購入後は、６か月を目安に使用する。 開封後は、なるべく早く使用する。 使用後は密栓する。 一度取り出した内溶液は元の容器に戻さない。
局所排気・全体換気	：	必要に応じて、局所排気又は全体換気を行なう。
安全取扱い注意事項	：	すべての安全注意を読み理解するまで取扱わない。 取扱い後はよく手を洗う。
接触回避	：	酸類、金属、日光、高温体との接触を避ける。

保管

技術的対策	：	保管場所は、製品が汚染されないよう清潔にする。
保管条件	：	幼児、子供の手の届かない所に保管する。 日光や高温を避けて保管する。 冷暗所に保管する。 酸類、金属、食料、飼料から離して保管する。
混触危険物質	：	酸類、金属
容器包装材料	：	ポリエチレン、ポリプロピレン、ガラス等 腐食性があるので鉄製の容器は不可

8.ばく露防止及び保護措置

管理濃度	：	設定されていない。
許容濃度（ばく露限界値、生物学的ばく露指標）：		
日本産衛学会		設定されていない。
ACGIH		設定されていない。
設備対策	：	特に必要なし。 換気の悪い作業場所には、必要に応じて局所排気又は全体換気装置を設置する。
保護具		
呼吸器の保護具	：	特に必要なし。 呼吸器系の弱い作業者は、必要に応じて保護マスクを着用する。
手の保護具	：	特に必要なし。 皮膚や粘膜の弱い作業者は、保護手袋（塩化ビニル製、ニトリル製、ポリエチレン製など）を着用する。
眼の保護具	：	特に必要なし。 眼刺激に弱い作業者は、保護眼鏡（普通眼鏡型、ゴーグル型）を着用する。
皮膚及び身体の保護具	：	特に必要なし。 濡れた床は滑りやすいので、滑りにくい靴を着用する。
衛生対策	：	この製品を使用する時に、飲食又は喫煙をしない。 取扱い後はよく手を洗う。

9．物理的及び化学的性質

物理状態

性状	：	液体
色	：	無色
臭い	：	データなし
pH	：	弱酸性（5-6）
融点	：	データなし
凝固点	：	データなし
沸点	：	データなし
引火点	：	引火性なし
可燃性	：	不燃性
爆発範囲	：	爆発性なし
蒸気圧	：	データなし
相対ガス密度（空気 = 1）	：	データなし
密度又は相対密度	：	1.0 g/cm3 （20℃）
比重	：	データなし
溶解度	：	水、エタノールに任意の割合で混合する。
オクタノール/水分配係数	：	データなし
発火点	：	発火性なし
分解温度	：	データなし
粘度	：	データなし
動粘度	：	データなし
粒子特性	：	データなし

ＧＨＳ分類

引火性液体　：　本品は不燃性であることから、区分に該当しないとした。
自然発火性液体　：　本品は不燃性であることから、区分に該当しないとした。
自己発熱性化学品　：　本品は不燃性であることから、区分に該当しないとした。
水反応性可燃性化学品　：　本品は水溶液であり安定であることから、区分に該当しないとした。

10．安定性及び反応性

安定性（反応性・化学的安定性）
：　通常の取扱条件において安定である。
危険有害反応可能性　：　酸類と混合すると有害な塩素ガスを発生する。
金属と接触すると腐食させることがある。
避けるべき条件　：　日光、高温
混触危険物質　：　酸類、金属
危険有害な分解生成物：　塩素ガス

11．有害性情報

急性毒性　：経口　区分に該当しない。
経皮　区分に該当しない。
吸入（ミスト）分類できない。
皮膚腐食性/刺激性　：区分に該当しない。
眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性：　区分に該当しない。
呼吸器感作性　：分類できない。
皮膚感作性　：分類できない。
生殖細胞変異原性　：分類できない。
発がん性　：分類できない。
生殖毒性　：分類できない。
特定標的臓器毒性
（単回ばく露）　：分類できない。
特定標的臓器毒性
（反復ばく露）　：分類できない。
誤えん有害性　：分類できない。

12．環境影響情報

生態毒性
水生環境有害性 短期(急性)：　区分に該当しない。
水生環境有害性 長期(慢性)：　区分に該当しない。
残留性・分解性　：　データなし
生物蓄積性　：　データなし
土壌中の移動性　：　データなし
オゾン層への有害性　：　本品はモントリオール議定書の附属書にリストアップされていない
ため、分類できないとした。

13．廃棄上の注意

残余廃棄物　：　廃棄においては、関連法規ならびに地方自治体の基準に従う。
必要に応じて、都道府県知事などの許可（収集運搬業許可、処分業許可）を
受けた産業廃棄物処理業者に、産業廃棄物管理票（マニフェスト）を交付して
廃棄物処理を委託する。　廃棄物の処理にあたっては、処理業者等に危険性、
有害性を充分告知の上処理を委託する。
（参考）一般的な廃棄方法（希釈法）
危険性、有害性は低いので、大量の水で希釈して排水処分とする。
汚染容器及び包装　：　内容物により汚染された容器及び包装材は、関連法規の基準に従って
適切に処分する。
空容器を廃棄する場合は、内容物を除去した後、関連法規ならびに地方
自治体の基準に従って廃棄する。
必要に応じて、産業廃棄物処理業者に処理を委託する。

14.輸送上の注意

国内規制（適用法令）
陸上規制　：　特段の規制なし（非危険物）
海上規制　：　特段の規制なし（非危険物）
航空規制　：　特段の規制なし（非危険物）
国連番号　：　非該当
国連分類　：　非該当
品　　名　：　非該当
海洋汚染物質　：　非該当
MARPOL73/78付属書II及びIBCコードによるばら積み輸送の有害液体物質の汚染分類
：　非該当
特別の安全対策　：　輸送に際しては、直射日光を避け、容器の破損、腐食、漏れのないよ

うに積み込み、荷崩れの防止を確実に行う。
食品や飼料と一緒に輸送してはならない。
重量物を上積みしない。

15．適用法令

労働安全衛生法	：非該当。 なお、令和6年4月1日施行、令和7年4月1日及び令和8年4月1日施行予定の表示・通知対象物の追加物質にも非該当 （法第57条、法第57条の2） また、皮膚等障害化学物質やがん原性物質にも非該当 （安衛則第594条の2、安衛則第577条の2）
毒物及び劇物取締法	：非該当
消防法	：非該当
化学物質排出管理促進法(PRTR法)	：非該当〔2023年(R5年)4月1日施行の法改正にも非該当〕
船舶安全法	：非該当
航空法	：非該当
輸出貿易管理令	：非該当

16．その他の情報

【使用方法】
・水で薄めず、原液のままお使い下さい。
・物品の汚れをあらかじめ落とし、十分な量で使用した後、きれいな布等でふき取って下さい。

【使用上の注意】
・ご購入後、６か月を目安になるべく早めにお使い下さい。
・塩素に過敏な方は使用を控えて下さい。
・幼児、子供の手が届く所に置かないで下さい。
・有毒ガスが発生する恐れがありますので、絶対に酸性の製品と混ぜないで下さい。
・眼に入ったり、飲み込んだりしないようにご注意下さい。
・金属製品を腐食することがありますので、直ぐに拭き取って下さい。
・衣服、皮製品、紙製品、コーティングのない木製品に対して変色やシミを生じることがありますので、前もって変色等の有無を確認してから使用して下さい。
・日光、高温を避けて冷暗所に保管して下さい。
・食品の除菌目的で使用することは出来ませんのでご注意下さい。

【参考文献】
・厚生労働省ホームページ「新型コロナウイルスの消毒・除菌方法について（厚生労働省・経済産業省・消費者庁特設ページ）」
https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/syoudoku_00001.html
・niteが実施した新型コロナウイルスに対する消毒方法の有効性評価に関する情報公開について
https://www.nite.go.jp/information/koronataisaku20200522.html
・「次亜塩素酸水」を使ってモノのウイルス対策をする場合の使用方法（厚生労働省等監修）
https://www.meti.go.jp/press/2020/06/20200626013/20200626013-4.pdf
・化学物質管理促進法PRTR･MSDS対象物質全データ　化学工業日報社
・労働安全衛生法MSDS対象物質全データ　化学工業日報社(2007)
・化学物質の危険･有害便覧　中央労働災害防止協会編
・化学大辞典　共同出版
・安衛法化学物質　化学工業日報社
・産業中毒便覧(増補版)　医歯薬出版
・化学物質安全性データブック　オーム社
・公害と毒・危険物(総論編、無機編、有機編)　三共出版
・化学物質の危険・有害性便覧　労働省安全衛生部監修
・Registry of Toxic Effects of Chemical Substances NIOSH　CD-ROM
・GHS分類結果データベース　nite（独立行政法人　製品評価技術基盤機構）　HP
・GHSモデルMSDS情報　中央労働災害防止協会 安全衛生情報センター　HP

このデータは作成の時点においての知見によるものですが、必ずしも十分ではありませんし、何ら保証をなすものではありませんので、取扱いには十分注意して下さい。なお、この安全データシート(SDS)はJIS Z 7253:2019に準じ作成しています。